



2024年5月9日

各位

会社名 **株式会社 ケーズホールディングス**
代表者の
役職氏名 代表取締役社長執行役員 平本 忠
(コード番号 8282 東証プライム)
問合せ先 取締役上席執行役員 水谷 太郎
経営企画室長
TEL 029-215-9033

減損損失の計上及び繰延税金資産の取り崩し ならびに業績予想と実績値との差異に関するお知らせ

当社は、2024年3月期第4四半期累計期間において、下記のとおり減損損失を計上するとともに、繰延税金資産の一部を取り崩すことにより、2023年11月1日に公表いたしました2024年3月期の連結業績予想と実績値に差異が生じたので下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 減損損失の計上について

当社グループが保有する店舗等に係る固定資産の一部について収益性の低下が見込まれることから「固定資産の減損に係る会計基準」に基づき、減損損失8,221百万円を計上いたしました。

2. 繰延税金資産の取り崩しについて

当社の連結子会社である株式会社関西ケーズデンキの2024年3月期及び今後の業績動向を踏まえ、当該子会社の繰延税金資産を取り崩し、法人税等調整額に1,845百万円を計上いたしました。

3. 2024年3月期連結業績予想との差異（2023年4月1日～2024年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想（A）	百万円 745,000	百万円 25,500	百万円 30,000	百万円 18,000	円 銭 101.12
実績値（B）	718,369	18,724	22,944	7,380	41.64
増減額（B-A）	△26,631	△6,776	△7,056	△10,620	
増減率（%）	△3.6	△26.6	△23.5	△59.0	
（ご参考）前期実績 （2023年3月期通期）	737,320	30,129	35,266	21,120	110.17

4. 差異の理由

当連結会計年度の業績につきましては、売上高は、夏商戦はエアコンをはじめとする季節商品が記録的猛暑により好調だったものの、冬商戦は暖冬により振るいませんでした。

また、電気代高騰や物価高による生活防衛意識の高まりに起因する消費マインドの低下や買い替えサイクルの長期化が続き、商品全般において低調に推移いたしました。

利益面は、販売費及び一般管理費の効率的な運用に努めましたが、売上総利益の減少分をカバーするには至らず、売上高、営業利益、経常利益ともに連結業績予想を下回る結果となりました。

また、親会社株主に帰属する当期純利益につきましては、減損損失の計上及び繰延税金資産の取り崩しにより大幅に連結業績予想を下回る結果となりました。

以上